

宇都宮市立今泉小学校第4学年【国語】分類・区分別正答率

★本年度の県、市と本校の状況

分類	区分	本年度		
		本校	市	県
領域等	話すこと・聞くこと	91.1	87.9	87.8
	書くこと	80.3	67.6	67.1
	読むこと	60.4	56.3	54.1
	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	77.3	67.6	66.0
観点	話す・聞く能力	91.1	87.9	87.8
	書く能力	78.9	66.3	65.7
	読む能力	60.4	56.3	54.1
	言語についての知識・理解・技能	77.2	67.7	66.0

★指導の工夫と改善

○良好なもの ●課題が見られるもの

分類・区分	本年度の状況	今後の指導の重点
話すこと・聞くこと	○市の平均正答率を3.2ポイント、県の平均正答率を3.3ポイント上回っている。設問別に見ると、互いの考えの共通点や相違点を整理して聞く能力と、話の中心に気を付けて聞く能力についての正答率が高かった。 ●話し方の工夫に気を付けて聞く能力についての設問の正答率は、市・県の平均は上回っているものの、互いの考えの共通点や相違点を整理して聞く能力、話の中心に気を付けて聞く能力と比べるとやや正答率が低かった。	・何を相手が話したいのかということを聞き取るために、キーワードを見つけたり話していることを整理したりして、内容を理解させる練習をさせる。また、相手がわかりやすい話し方で話す練習なども行っていきたい。
書くこと	○市・県の両平均を大きく上回っている。特に、敬体で書く能力についての正答率が高かった。 ●読み手に伝えたい事柄を正確に伝えられるよう注意して書く能力については市や県の平均を上回ってはいるものの、他の設問の正答率と比べるとやや低い傾向が見られた。	・文章を書くときに、誰に何を伝えたいのかを意識させることで、読み手に伝えたい事柄を正確に伝えられるよう指導していきたい。また、様々な場面で語彙を増やすように努め、自分の伝えたい事柄を自分の言葉で伝えられるようにしていきたい。
読むこと	○市の平均を4.1ポイント、県の平均を6.3ポイント上回る結果となった。文と文のつながりに注意して文章を読む能力についての設問の正答率が高かった。 ●目的や必要に応じて文章の内容をとらえる能力と、場面の様子を叙述を基にして読む能力のいずれも5割を下回っている。	・文章を読むときに、何を読み取るのかをはっきりおさえて文章を読むように指導していきたい。また、ただ読むのではなく、場面ごとに内容をとらえ、その様子を想像して読むように指導していきたい。
伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	○市・県の両平均を大きく上回っている。特に漢字については全体的に正答率が高く、第2・3学年の漢字の書きについては十分な定着が見られた。 ●言葉についての理解が全体的に低い傾向が見られた。国語辞典の使い方や反対の意味の言葉についての正答率が低く、ローマ字による書き方の理解については、この領域で唯一市と県、両方の平均を下回る結果となった。	・漢字辞典については、漢字を調べる時努めて使うようにしていくとともに、総画、部首、音訓のどの引き方もできるようにしていきたい。また反対の意味の言葉については、わからない言葉を調べたときに、その言葉と反対の意味も調べるなどして少しずつ語彙を増やすようにしたい。ローマ字については、会話科の時間などを活用するなどして少しずつ児童が触れる機会を増やすようにしていきたい。